

幌尻岳に挑む（溪流渡渉との闘い）



平成26年8月1日～9日

阿部幸雄・石橋満雄・今井幸彦

行動記録

月日	行動記録
<p>8/1 (金)</p> <p>8:16</p> <p>15:37</p> <p>17:00</p> <p>19:00</p>	<p>石橋隊員は広島発さくら号で新大阪へ。今井隊員は福山で合流。</p> <p>新大阪、東京と乗り換え、仙台駅着。</p> <p>阿部隊員はプリウス号で早い時間に仙台へ到着待機しており、全員が集結。</p> <p>駅名店街で夕食の名物牛タン弁当を購入。車の到着を待っていると猛烈な雨が降る</p> <p>仙台港フェリー乗り場着、船室は予約申し込みが遅れ、2等船室が満員でS寝台である。TVがついているが飲むことが忙しく見ることはなかった</p> <p>出港 船内ロビーで夕食。ビール、日本酒、焼酎で乾杯。前回の経験からレストランよりロビーのほうがゆっくりと食事が出来てよい。</p>
<p>8/2 (土)</p> <p>10:50</p> <p>11:45</p> <p>13:00</p> <p>15:30</p> <p>17:00</p>	<p>苫小牧港着。下船、毎度のことながら車が下船するまで30分程度待たされ</p> <p>前回同様苫小牧漁港のマルトマ食堂へ向かう。</p> <p>既に30~40人近い行列、前にいる人に聞くとロコミで知り札幌から来たという。</p> <p>1時間近く待ってようやく食堂に入りマルトマ丼(1,200円)を注文、イクラ・ホッケ・うに・鮭などが器にあふれるばかりに乗っている。</p> <p>マルトマ食堂発。イオンモール苫小牧で幌尻山行に必要な2日間の食糧を購入。</p> <p>富川から日高国道に入り、時間に余裕があるため平取町の二風谷アイヌ文化博物館による。萱で屋根や壁を覆ったアイヌの住居や、大きな丸木舟、各種の民具が展示してある。</p> <p>とよぬか山荘着。受付で宿泊料5,000円×3名分を払い、券売機で明日のシャトルバスの乗車券(往復)3,500円×3名を購入。入浴後ジンギスカン鍋の夕食。夕食後談話室で岡山から来たパーティ3名と交流。この山荘は旧中学校を改装したとのことだが、風呂、トイレも綺麗で2段式のベットに布団もあり、中々いい宿である。</p>
<p>8/3 (日)</p> <p>6:00</p> <p>7:00</p> <p>7:45</p> <p>7:55</p> <p>10:10</p> <p>11:00</p> <p>12:20</p> <p>14:20</p>	<p>山荘の朝食おにぎり2個と漬物を食べる。</p> <p>シャトルバスで出発。12~3名乗っている。途中ゲートがあり、運転手が下りてゲートを開けて通過。(これが第1ゲートか?)</p> <p>第2ゲート(標高530m)に到着。(山と高原地図では第1ゲートとなっている)</p> <p>下山組のパーティがいて、折り返し便で下山していく。</p> <p>第2ゲート登山口を出発、我々が最後尾で高齢者らしくゆっくりと歩く。</p> <p>7.5km 歩きダム取水口(標高750m)に到着。途中地図にある第2ゲートはなく間違いと思われる。途中地図にある第2ゲートはなく間違いと思われる。</p> <p>取水口からは糠平川右岸沿いを高巻きや鎖のある岩場を通過。</p> <p>途中今井隊員が足をつり、昼食をとって休憩。</p> <p>渡渉開始地点(標高766m)に着く。水深は深いところで膝の下くらいで、ストックを支えに慎重に渡る。右岸から左岸、右岸へと15回程度繰り返し、最後に左岸に渡ると小屋が見えた。</p> <p>幌尻山荘着。小屋の前の広場に青シートが3枚も広げてあり、先着パーティが多数休憩していた。</p>

月日	行動記録
	小屋の側を流れる溪流で釣りをしていた男性が岩魚を釣り上げる。エサ不足のためか痩せているが、4匹釣る。中々の腕前である。今夜は泊り客が多く小屋は2階まで満室であった。
16:20	夕食はカツカレーに野菜サラダ福神漬、焼酎の水割りで乾杯する
19:00	就寝。消灯は 19:30 である。
8/4 (月)	
3:00	起床。パックご飯に味噌汁、ゆで卵等の朝食を済ませ、
4:35	うす暗い中を出発、いきなり急な登りが続く。
6:35	2ピッチで命の水(1530m)に到着する。やがて這松帯に入り、お花畑が現れるガスで眺望は全くなし。
9:10	新冠への分岐点着(標高 2010m)。
9:25	幌尻岳頂上着。残念ながらガスで視界は2~30m程度。名物のカールも全く見えず。昼食後戸蔦別岳への縦走は諦めて下山する。
	途中お花畑で写真撮影しながらのんびりと下る。
12:15	命の水を通過。
13:50	幌尻山荘着。昨日より宿泊客は大分少ないようである。
15:30	夕食の準備に掛かる頃から小雨がぱらつき始める。
16:30	夕食。残り少なくなった焼酎で乾杯、今夜は牛肉シチュー丼にフカヒレスープ・野菜サラダの豪華版である。
19:40	消灯。寝ようとするが外の雨音が気になる。寝る前に小屋番が、明日出発するかどうかの判断は自分に聞くようにと言っていたことを思い出す。
8/5 (火)	
3:00	起床。
3:30	昨夜、明朝は3時起床で8時発のバスに乗ろうと相談していたので、出発準備を終え小屋番に訊ねると出発はダメだということで様子を見ることにする。
5:00	空が少し明るくなり、ツアーのグループが出発したので我々も出発することにした。我々の後を福山から来たという夫婦パーティがついて来る。何回か渡渉するたびに最後尾の私が後ろを見守っていると、先頭の男性がホットしたような笑顔を返してくる。
6:20	やがてかなり厳しい渡渉箇所に来ると岡山の7人パーティも追いついてくる。ここからは3パーティ(男6名、女6名)が合同の徒渉となる。(詳しい様子は別添の今井隊員のレポート1を参照。)
8:00 頃	最後の難関を終え、右岸の巻き道を下る。私が最後尾を歩いていると、今井君が人が落ちているという。左の崖下を見ると数m下に黄色のザックを担いだ男性が必死で草にしがみついているのではないか。前に行く阿部君に声を掛けようかと思ったが、姿が見えなくなり2人で救出することになる。(詳しくは別添今井隊員のレポート2を参照)
9:25	ようやくダム取水口に到着する。阿部君が待っていてくれ、すぐに7.5km先の第2ゲート登山口まで11:00発のバスに間に合うよう先を急ぐことにする。誰かが先についてバスの運転手に待ってくれるよう頼むこととし、時速5kmのペースで左右の手を振りながらまるで競歩のように歩く。
11:00	何とか3分前に第2ゲートに到着。バスに乗り込み、あと4名が来ることを告げ

月日	行動記録
	る。福山の夫婦、今井君、阿部君と到着して全員集合。途中追い抜いた単独行の男性は午後2時（本当は5時）のバスに乗ると言っていたことを告げ、バスが出発する。
12:00	とよぬか山荘に到着。濡れた靴、雨具などを脱ぎ、荷物をプリウスに積み込んで富良野目指して出発する。
13:00	途中温泉を探して、占冠村の湯ノ沢温泉を見つけて入り濡れた衣服を着替えてやっと落ち着く。併設した食堂で冷たい汁ソバを食べると、空いた腹に大変美味かった。
15:00	富良野駅に到着。明後日泊まる駅近くの民宿「あきば」へ車を預け、今夜の夕食や明日以降の食糧の買い出しにスーパー「ホクレン」へ行く。 駅で旭川経由上川までのキップを買おうとするが、JR石北本線が大雨のため運行停止の情報があり、旭川までJRで行き、旭川から層雲峡行バスで行くことに変更する。結果的に上川から乗る予定のバスと同じバスであった。
16:55	富良野駅発。車内でビールで乾杯し、夕食を食べる。
18:15	旭川駅着。18:30発の層雲峡行き道北バスに乗る。途中で明日からのトムラウシ登山の計画を天候の見通しが悪いため中止することにし、予約してあったタクシー会社に電話しキャンセル。
20:20	層雲峡バスセンター着。止まっていたタクシーの運転手に民宿「とだて」の場所を訊くと、タクシー会社の隣で今日はもう引き上げるので乗れという。厚意に甘えて乗せてもらい助かる。
20:25	民宿「とだて」着。
20:45	通路続きで隣の公共温泉「黒岳の湯」に入浴し、風呂上りのビールで乾杯
22:00 頃	就寝
8/6 (水)	
6:00	起床。目が覚めると雨が上がり、薄日がさしている。
7:15	行動食のむすびで朝食。小生の時計がないことに気付き、昨夜の風呂場に忘れたのではと思い出し取りに行こうとするが扉が閉まっていて、10時にならないと開かないという。町の経営なので時間にならないと従業員が出勤しないとか。
9:00	仕方なく荷物をバス乗り場に預け、町中を散策して土産物店でコーヒーを無料で頂き、開いていた層雲峡ビジターセンターに入る。映像「大雪山の冬・春・夏・秋」を鑑賞する。
10:55	旭川行バスに乗る。上川駅で5分間停車し乗客の大部分が降りる。自販機でお茶を買いバスに戻り、5分後に出発。しばらくバスが走っていると、突然携帯が鳴りだす。今井君からの電話で乗り遅れてバスが出てしまったという。幸い旭川行のJRがあり、旭川駅で合流できるとのことで安心する。上川で降りた客はJRに乗り換えていたようだ。その方が170円安くつくことが後で分かった。
12:55	旭川駅着。今井君がバス停で待っていた。駅構内の食堂で昼食の旭川ラーメンを食べる。富良野行の列車の時間まで構内をブラついていると、ダイヤの見間違えで発車まで数分であることに気付く。慌てて改札に入るが、今井君が中々来ない。乗車券が見当たらず、再び購入していたようだ。昨日富良野駅でも阿部君が乗車券が見当たらず再購入していたので、同じことが2度あったことになる。これを教訓に今後は入場券は直ぐに皆に配らず、乗るときに渡すことにしようと考

月日	行動記録
	えた。
13:38	旭川駅発。車窓から十勝山脈の素晴らしい眺めが見える。
14:55	富良野駅着。民宿「あきば」に寄り、プリウスに乗って富良野ワイン工場を見学に出掛ける。ワインの試飲をし、美味しいのでつつられてワインを購入した。
16:45	「あきば」着。
17:00	夕食に宿の主人お奨めの居酒屋「酒菜家」(さかなや)に行く。開店1番の客で早速生ビールで乾杯。隣の席にいた女性客2人とも杯を交わす。店主お奨めの富良野産の野菜を使った料理が旨かった。気が付けば4時間余り経っており、宿に帰る。
22:00頃	就寝
8/7(木)	
5:30	起床。夜中に雨が降っていたのか、道が濡れている。
7:30	朝食。美味しい朝食で最後に富良野産のメロンが出る。
8:30	民宿を出発。十勝岳方面を見物に出掛ける。
9:05	十勝岳温泉駐車場(標高1270m)に着くが、雨で展望は今一つであった。
9:20	望岳台(標高930m)から十勝岳の噴煙が眺められる。いつか登ってみたい気持ちになる。
9:40	白金温泉インフォメーションセンターによる。
10:00	美瑛の「四季彩の丘」に行き、ノロッコ号に乗り、色鮮やかな花丘を愛でる。
11:30	昨日行ったワイン工場の上にあるレストラン「富良野ワインハウス」で富良野産チーズ他を使った料理に舌鼓をうつ。ワインが飲めないのは残念だった。
13:00	帯広を目指して出発。北海道の背骨と云われる日高山脈を越える数少ない峠である、樹海峠、狩勝峠2つの峠を越えて十勝平野に向かう。
15:15	帯広駅に到着。駅の案内所で宿泊所一覧表をもらい、電話で予約する。駅から車で数分の「庵」旅館という宿に決める。朝食付き4200円。あまりきれいではない。
15:50	近くに競馬場があるというので行くと、ばんえい競馬場であいにくこの日はレースをやっていなかった。
16:20	街中の「六花亭」に行き、有名な「バターサンド」を土産に買う。夕食の店を探して街を歩く
17:00	にぎり寿司、刺身他で880円という値段につられて「本庄水産帯広店」に入る。広島にもある「日本海庄屋」の姉妹店とか。値段もリーズナブルでボリュームもあり、満足して店を出る。丁度七夕祭りのにぎやかな通りを散策して宿に帰る。
19:00頃	旅館「庵」帰着。
8/8(金)	
6:30	起床。天気は相変わらずよくない。
7:30	朝食
8:20	襟裳岬に向かって出発。途中、旧幸福駅により駅舎などを見学。
	小雨の降る中、中札内道の駅で休憩して牛乳を飲む。
11:50	襟裳岬に到着。岬の先に続く岩礁が印象的だった。「風の館」に入館して、館内の望遠鏡で岩礁にいる「ゼニガタアザラシ」を見る。

月日	行動記録
13:25	近くの食堂で「ウニ丼」を食べる。少々高かったが流石に旨かった。
	襟裳岬発。様似、浦河、静内と長い海岸線を走り道の駅「サラブレッドロード新冠」によるが、大したものはない。途中のコンビニで今夜の夕食の買い物をする。
16:45	する。鶴川から高速道路に入り沼ノ端で降りて苫小牧市内へ。
	苫小牧港フェリー乗り場着。既に復路の乗船券は購入していたが、乗船者名簿を記入して手続きを済ませる。
18:00	乗船。部屋は今回は2等船室で、乗船者は半分くらいで空いていた。
19:00	出港。夕食は往路同様、船内ロビーのテーブルで最後の宴会となる。旅を終えた開放感からか、ビール、焼酎のロックと杯が進み、気が付けば周りにはあまり人が居なくなっていた。
8/9 (土)	
7:00	起床。風呂に入って、ビュッフェでモーニングの朝食。
	ロビーの椅子に座って外を見ると松島らしいものが見え、仙台港入港が近いことが分かる。
10:00	仙台港入港。
10:35	下船して仙台港発
11:10	仙台駅着。ここで解散。阿部君はプリウスで長野へ。我々2人は乗車券を買おうと窓口に行くと長蛇の列、ようやく購入してホームに上がると予定していた列車「はやぶさ」が丁度入るところだった。ところが自由席がないことに気付く。指定席もほぼ満席のようなので、つぎの「やまびこ」に乗ることにする。
	東京駅で乗り継ぎの「ひかり」に間に合うか心配したが、幸い岡山行きの「ひかり」に間に合い、新大阪からの「さくら」に乗ることが出来、予定通り広島、東広島に着くことが出来た。



苫小牧港 マルトマ食堂



名物「マルトマ丼」



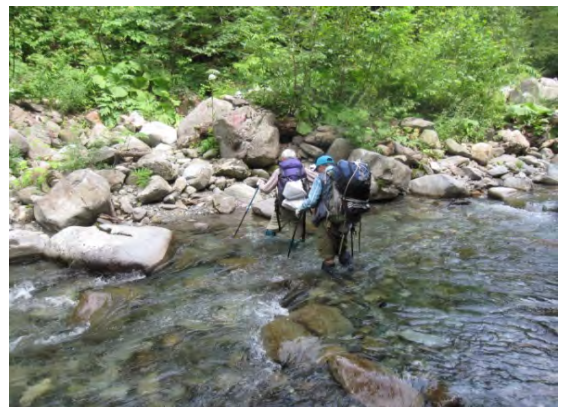
二風谷アイヌ博物館の広場の周りの建物



第2ゲート登山口



渡渉開始地点 (帰路は岩が半分まで水没していた)



左岸から右岸へ渡渉



左岸を遡行



幌尻山荘



十勝連峰を望む



富良野四季彩の丘



豪華な昼食



帯広の居酒屋



富良野ワイン工場レストランで昼食



ワインの試飲



襟裳岬先端の岩礁

